



「学校教育目標」
 絆を深め、地域社会に貢献
 できる生徒の育成
 ○自ら学ぶ ○思いやる
 ○体を鍛える

文責 竹田 圭志

みどりが丘小学校ふれあい集会

11月2日(土)、みどりが丘小学校の「ふれあい集会」が開催され、本校吹奏楽部が閉会式に招待され演奏を披露しました。「マリーゴールド」「愛にできることはまだあるかい」「シャルル」「パプリカ」の4曲を演奏しましたが、最後の「パプリカ」では、児童たちが思わず踊り出してしまふほどの盛り上がりでした。

児童たちはもちろん、小学生の保護者や先生方からもたくさんの感謝のお言葉をいただき、小・中連携親善大使の大役を立派に果たしてくれました。



固唾をのんで見守る小学生たちの「期待」という「圧」は、相当のものでした。

商工祭で防犯キャンペーン

11月3日(日)、小川町役場周辺で行われた商工祭で、生徒会本部役員の皆さん(生徒会長(2)、副会長(1)、会計(2))が学校代表として青少年健全育成防犯キャンペーンに参加しました。

小さな子供たちや、高齢者の皆さんに目の高さを合わせて配布物をお渡しする、「思い」が伝わる素晴らしい活動でした。



ハンドマイクで訴えながらパンフレットを配りました

西部北地区音楽会

11月8日(金)、東松山市民文化センターで開催された西部北地区音楽会に3年1組が参加しました。校内の合唱祭などを勝ち抜いた、学校代表の精鋭たちが集まる音楽会です。そんな中であって、3年生は、自分たちの持てる力を余すことなくぶつけてくれました。悔いの残らない最高の合唱ができたことと藤野先生も絶賛でした。



「やるときはやる」ではない「いつもやっている」から「できる」



今日の合唱に悔いなし!

惜しくも県の音楽会に駒を進めることはできませんでしたが、2学期になってからわずかな時間を見つけると練習を重ねてきた合唱、いろいろな壁が立ちました。そして、それを乗り越えてきました。その取組の過程は、他人が評価できるものではありません。体験した人でなければわからない辛かったこと、苦しかったこと、そして、嬉しかったこと。きっと、これからの財産になってくると思います。

みどりが丘小学校音楽朝会で歌声を披露

11月12日(火)、みどりが丘小学校の音楽朝会で3年生が合唱を披露し、小学校の体育館を感動の渦に巻き込みました。

3年生は、この日をもって、「合唱」に一区切りがつかしました。素晴らしい思い出を胸に、「輝くために」や「COSMOS」が、卒業後もいつまでも口ずさまれる、皆さんにとっての「応援ソング」になってくれることを願っています。



歌う姿も小学生たちに「中学生のすごさ」を印象づけたことでしょう

西部北地区音楽祭、み小音楽朝会には、保護者の皆様が多数足を運んでくださいました。ありがとうございました。

吹奏楽部 アンサンブルコンテストで銀賞を獲得

11月13日(水)、狭山市市民会館で開催されたアンサンブルコンテストに吹奏楽部(サクソ4重奏(1年生)、サクソ5重奏(2年生))が参加しました。2年生チームが、見事「銀賞」を獲得しました。先輩と後輩が共に切磋琢磨することがもたらした素晴らしい結果です。



先陣を切って2年生に勇気を与えた1年生チーム



1年生の応援を胸に銀賞を獲得した2年生チーム

五行歌 8月号冊子に掲載されました

二年 女子
テスト週間は
少し友達をライバル視
ノー勉強さを
かけて
かけて

氷上さんの作品は、
8月28日の読売新聞
(朝刊)に掲載され
ました。

二年 女子
朝の会、授業中、休み時間…
常に模様を変えている空
さっともう見れないこの空模様を
ずっと見ていられるのが
窓ぎわの特とう席

三年 女子
「暑い」
その一言で
体感温度一度上昇
分かっていても
言ってしまう

一年 女子
窓にうつる
自分の姿を確かめる
今日はあんまりうつらない
もう少し日光(ライト)が
ほしいかな

三年 女子
好きなことをしている
時間が短く感じる
嫌いなことをしている
時間が長く感じる
不思議な世界に入ったみたい

一年 女子
いつもと同じ道なのに
部活が終わるころには
道が夕日のような色に
変わって
疲れを忘れさせてくれる

三年 女子
中学最後の体育祭
中学最後の部活
中学最後の…
何をやるにしても「中学最後」
焦りを感じる日々

一年 女子
手話ができなくても
笑顔で頭を下げれば…
あいさつと見える
どんな人でも
つうじ合えるような世界

三年 女子
部活を引退した
負けて悔しかったけど
涙は出なかった
次の日部活をする後輩を見て
不思議と涙が出てきた

五行歌 10月号冊子に掲載されました

二年 女子
2学期が始まった
いつもと変わらない日々
いつもと変わらないみんな
8月31日はあんなにゆううつだったけど
これはこれでよい

すでに、11月号の五行歌の冊子が届いています。誌面の都合上、次回学校だよりで紹介いたします。

一年 女子
窓をあけると
風がはいてくる
でも そのあと
次の させつ
においがする

三年 男子
僕は夏が嫌い
暑いし、せみはうるさいから
夏休みが終わってしまった
これで涼しくなると思っていた
…なんだこの暑さは

一年 女子
一人の帰り道
ぼーっと歩く帰り道
空を見上げると
絵にかいたような夕日
明日も頑張ろう

三年 女子
青い空が美しい季節から
赤い空が美しい季節へと
少しずつうつっていく
まるで
映画のように

一年 女子
母のいない間はパーティ気分
ガチャ
この音でパーティは終わり
すぐさま片づけて勉強しているフリ
母だと思ったら妹だった…

三年 女子
太陽に照らされ
キラキラと輝き
まぶしすぎる海
まるで海の
流星群のようだ

一年 女子
もう九月なのに
泣き続けるせみ
使い続けるせんぶう機
じりじりと照らし続ける太陽
今日も真夏日

三年 女子
台風が来た
雨も風も雷もすごくて
機も倒れそうだ
窓越しに見える世界は
いつもとは違う別世界